



小平町第6次社会教育
中期計画メインテーマ

ひろげよう 学びの「絆」で しあわせのまち



社会教育の方針「地域をあげて子どもを育てる環境をつくります」「支え合う協働の学びの場をつくります」「芸術や文化に集う人を育てます」「世代をこえて楽しめる生涯スポーツを振興します」

小平町文化財の指定について

鬼鹿天応寺所蔵の2件の文化財が、4月1日付で町の有形文化財に指定されました。



小平町有形文化財 第2号

名称：鬼鹿天応寺本尊 木造阿弥陀如来半跏像及び両脇侍座像

説明：本尊阿弥陀如来半跏（はんか）像は、江戸時代の作で愛知県甲山寺より、明治時代に建網の親方花田伝七らをはじめとした地域の人々が資金を出し合い本尊として迎えられた。阿弥陀如来像は通常立像や座像として作られ、踏み下げ（半跏）の姿は死者を浄土へ迎える「来迎」を表すとされ、全国的にも非常に珍しい。

今回、時代は明治と下るが、両脇侍の観音菩薩・勢至菩薩についても指定に加えた。

小平町有形文化財 第3号

名称：鬼鹿天応寺 龍図天井画

説明：画家久保田金僊（きんせん：1874～1954）による、躍動感・生命感を感じさせる龍の天井画である。彼の代表作には鬼鹿花田伝七漁場を描き、アメリカセントルイス万博に出展された小樽市総合博物館蔵『鯨盛業図屏風』がある。本作『龍図天井画』は、1903（明治36）年に描かれた金僊の真筆で、彼が『鯨盛業図屏風』を描いたのと同じ1903（明治36）年に描かれたことがわかったことで、北海道の鯨漁を代表する資料である『鯨盛業図屏風』が本作と同時ないしは前後して鬼鹿で描かれたことを証明する資料となった。



↑ 龍図天井画



← 小樽市総合博物館蔵
久保田金僊「鯨盛業図屏風」

問い合わせ 文化交流センター

スポーツ安全保険の加入をおすすめします

この保険は、スポーツ活動または指導中の事故、ボランティア・文化活動中の事故等を対象とした保険です。万が一のケガや賠償責任事故の備えとして、スポーツ安全保険に加入されることをお勧めします。

対象 スポーツ・文化・ボランティア・地域活動を行う4名以上のグループ

保険期間 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで（途中加入は保険料を振り込んだ翌日から対象となります）

申込書 海洋センター、文化交流センターに申込書を備えてあります。

申込先 公益財団法人 スポーツ安全協会北海道支部（☎011-820-1709）

◎主な加入区分

加入対象者	補償の対象となる団体活動	掛金（人／年）
こども（中学生以下）	スポーツ・文化・ボランティア・地域活動	800円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象（個人練習等）	1,450円
高校生以上 （65歳以上の方も加入可）	文化・ボランティア・地域活動、団体の送迎等	800円
	スポーツ活動、スポーツ活動の指導・審判（64歳以下）	1,850円
	スポーツ活動、スポーツ活動の指導・審判（65歳以上）	1,200円

※詳細につきましては、パンフレットを海洋センター、文化交流センターに用意していますので、お問合せください。